

飯

いいたて

舘



目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「ツツジの森の遊歩道」
- 4 迎春／新年のごあいさつ
- 8 お知らせ「副村長就任あいさつ」ほか
- 10 飯館百景「キラキラ冬の夜」
- 12 議会報告 12月議会定例会
- 14 学びの広場「もちつき会」ほか
- 15 ほけんとふくし「フレイル予防」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 そのころはっ／おすすめ図書
- 20 おしらせのページ
- 21 入札結果
- 22 いいたてDIARY／ラオス通信。
- 23 ふるさと資源／ひとのうごき
- 24 HOPES（ホープス）



今月の表紙

キャンドルアーティストのキャンドル・ジュンさん（上の写真左上）が来村して行われたキャンドルナイト。記事はP10をご覧ください。表紙の左下にあるQRコードをスマートフォンのカメラで読み込むとYouTubeから動く表紙が見られます。操作に慣れない方は、詳しい人にやり方を聞いて、イルミネーションを楽しんでください。

ツツジの森のやさしい遊歩道

間伐材のチップをまわいに敷き詰めました

ツツジの咲く季節が待ち遠しいですね！

自生するヤマツツジが初夏には一面に咲く「大火山ツツジの森」に遊歩道がつけられました。大火山の南側斜面に広がる「ツツジの森」では、震災前から長年「飯館村議会OB会」が手入れを行っていて、その活動を引き継ぐ形で、現在は村が整備を進めています。今年度は、森林整備と併せて、間伐材を活用した遊歩道の整備が行われました。

遊歩道の整備は、村の委託を受けて森林整備を進めていた飯館村森林組合が行いました。「ツツジの森」に機械を搬入し、間伐材を現地でウッドチップに加工。それを、遊歩道となる部分に敷き詰めていきました。間伐材を生かした自然素材の遊歩道です。この事業は、「福島県森林環境交付金」を活用して実施しました。

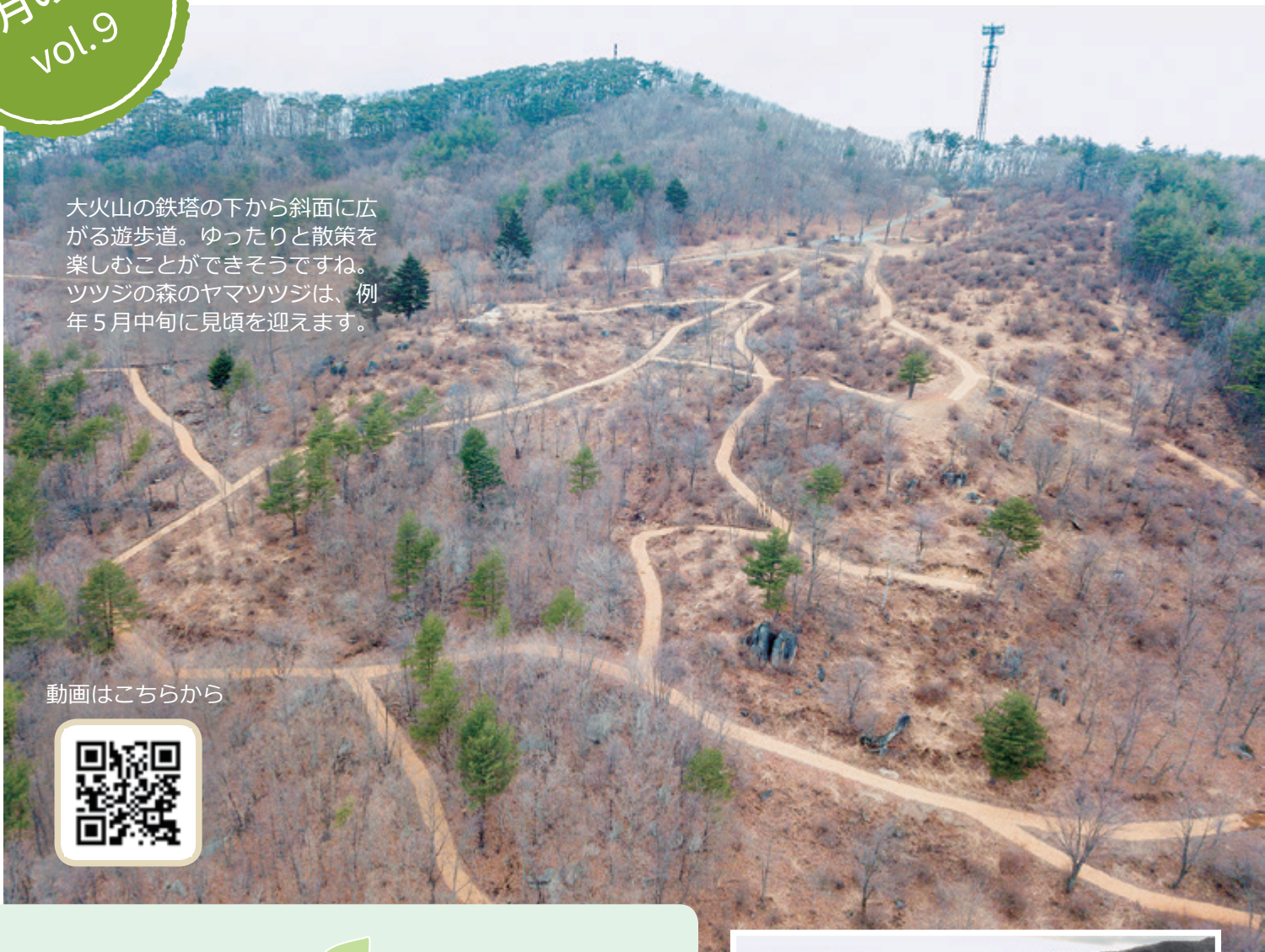


右は令和2年5月に撮影したツツジの森。群生するヤマツツジの朱色と新緑のコントラストが鮮やかでした。



木々の間を縫うように続く遊歩道に、刈り払いした間伐材のウッドチップが敷き詰められました。フカフカして気持ちのよい歩き心地。歩く人にも環境にもやさしい小径です。ウッドチップの風合いが、景観に温かみを加えています。

今月の話題
vol.9



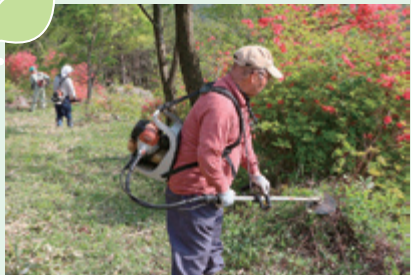
大火山の鉄塔の下から斜面に広がる遊歩道。ゆったりと散策を楽しむことができそうですね。ツツジの森のヤマツツジは、例年5月中旬に見頃を迎えます。

動画はこちらから



続けられていた地道な整備

ヤマツツジの群生地を村の名所に一。この地の整備は、飯館村議会OB会が、平成16年から続けていました。その地道な活動が続く中で起きた震災でした。OB会は全村避難中も、有志で整備活動続け、村も周辺の道路を舗装するなどして、「ツツジの森」は形づくられてきました。現在は、村の委託を受けて、飯館村森林組合が整備活動を行っています。



議会OB会の整備活動（平成27年）



村と森林組合の打ち合わせ（令和2年）

【お詫びと訂正】12月号のこのコーナーで紹介した福島大学の農林サークル「福桃」は「フータオ」と読みます。誤記をお詫びし訂正いたします。

迎春

2021

あけましておめでとございます。
新しい年、令和3年の幕開けです。

明るいい年になりますように。

あの時から
10年を重ねて、そしてこれからも
一人ひとりのたゆまぬ歩みが、
新しいふるさとをつくっています。
一歩ずつ進んでいきましょう。
村に想いを寄せるすべての人が、
このふるさとの担い手です。



ワクワクする楽しい一年に向けて



飯館村長
杉岡 誠

あけましておめでとうございます。
皆さまには、お元気で新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

新年にあたり「明日が待ち遠しくなるような、ワクワクする楽しいふるさと」に向けて全力を尽くすことを、あらためてお誓い申し上げます。

「明日が待ち遠しくなるようなワクワクする楽しいふるさと」を実現する原動力は、自らが「ふるさと」に愛着を持ち、ふるさとを前に向かって力強く進めていくことを「楽しみ」、「喜び」をともにする「ふるさと」の担い手」の営みそのものです。

かつて山中郷と呼ばれた時代、約180年から200年前の天明・天保の大飢饉の折に、全国各地からの移民が新たな村民となり、生き残った村民とともに田畑を耕して復興を成し遂げてきた歴史をもつ飯館村です。

村民一人ひとり、この歴史を踏まえた飯館村の風土に育まれた

まだいなかを忘れずに



飯館村議会議長
菅野 新一

飯館村を大切にされている皆さん、新年あけましておめでとうございます。

帰村された方は、年々増えており、23・9％に達するとともに、移住・定住の更なる推進により村内で生活される方も185人となり、ふるさと住民登録いただいた方も592人に達し、村は復興・再生に邁進しており、本当に有り難いことと感謝する次第であります。

しかしながら、世の中はコロナ禍の関係もあり新しい生活様式となり、村民の皆さんはそれぞれの事情により村内・県内・新たな地で生まれ、まだまだ課題を持ちながら生活を過ごされていることと痛感しておりますが、お元気にご家族お揃いでお正月をお迎えになられましたでしょうか。

そうした中、昨年も村内でいろいろなイベントが開催され、主に1月に村内外から沢山の人が集まり盛り上がった「いいたて新春村民のつどい」、4月に「子どもたちの未来をつくる」小・中統一校の義務教育学校「いいたて希望の里学園」、7月にどきどきわくわくがいっぱい

からこそ、未曾有の災害を受けても、住まい方が変わっても、村へのかかわり方が変わっても、土を耕し、種をまき、花を咲かせ、実を結び、また次年に繋ぐという「農」の営みに学んだ「力強さ」を持っている、と思っております。

言い換えれば、本村には、力強い「開拓」の精神が息づいているとも言えます。これまで、そしてこれから、本村に関わる方、移住してくる方、就業する方、起業する方など、その皆さまが、この開拓の精神に共感し、新たにふるさとを開拓していくことを楽しむ方々である、と考えております。

したがって私は、心根の奥に力強さをたずさえる村民と、新たなふるさとの開拓を楽しむ方々、その全てを、「ふるさと」の担い手」と位置づけ、「復興」すなわち「ふたたび興す」と言う視点から、「振興」すなわち「ふるい興す」という視点に立ち戻って、「ふるさと」の担い手」が主役であり、またプレイヤーでもある施策を展開して参ります。

今年3月に、東日本大震災から10年を満了します。現在、村が進むべき方向は、「帰る、戻る」ことを優先した「帰還促進」施策から、「自ら選んでかわる、自ら住む、自ら住み直す」フェーズ（段階）に替わってきております。

このことを踏まえ、私の施策方針と、飯館村第6次総合振興計画などの諸計画との整合性を図りつつ、明確な目標を定めながら、『明日が待ち遠しくなるような、ワクワクする楽しいふるさと』を「ふるさと」の担い手」とともに形作って参ります。

最後になりますが、新しい一年が素晴らしい年になりますように、皆さま並びにご家族様のますますのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

つまったみんなの広場「ふかや風の子広場」完成オープン、9月に飯館パークゴルフ場が完成し65人の来賓をお迎えし133人参加のオープン交流会、「きらきらかがやけみんなのえがお」までの里のこども園の運動発表会、10月に村内最大のイベント笑顔あつまるやつぱりいな飯館「いいたて村文化祭」、11月ふくしま駅伝チームワークでつかんだ敢闘賞と、それぞれの感動があり皆さんの記憶に残っていることでしょう。

一方では、長泥地区特定復興再生拠点についても、居住促進ゾーンを先行的に除染を進め、昨年度から整備しつつ環境省の実証事業にも参画し、避難指示解除に向け展開されております。

また、総合検診などの「生命（いのち）をまもる」、営農再開支援・畜産再開素牛導入など「までいブランドを再生する」、いいたて美しい村づくり推進条例、大火山風力発電・木質バイオマス施設整備事業など、村の再生に向かつて一歩ずつではありますが、着実に進んでおり、大変嬉しく思う次第です。

村政も昨年10月より新たな体制となり、村づくりも新しい改革へ推進されますが、引き続き、明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさとづくりに繋げるべく、我々村議会議員各位が「まだいなかを忘れずに」心をひとつにし、村民の代表として担い手となり、皆さんの声に寄り添い傾聴し、村再生と活性化に全力でふるさと飯館村を大切にする事を礎に、豊かで安心して暮らせるように取り組む所存でおります。

どうか、今年も二層のご指導・ご協力を賜り、身近で頼りがいのある村議会であられますようお願い申し上げますとともに、今年も皆さんにとつて幸せ多い年でありますようお願い申し上げます、念頭のごあいさつと致します。

感染防止に努めましょう

新型コロナウイルス感染症対策

●新型コロナウイルス感染症とは？

「新型コロナウイルス」は、誰も免疫を持たない新しい型のウイルスです。そのため感染しやすい上に、症状の出ない人もいて、知らないうちに広がっていきます。また、「気温が低い」「湿度が低い」環境では、さらに広がりやすいとされています。基本的な感染防止対策を徹底して続けていくことが何より大切です。

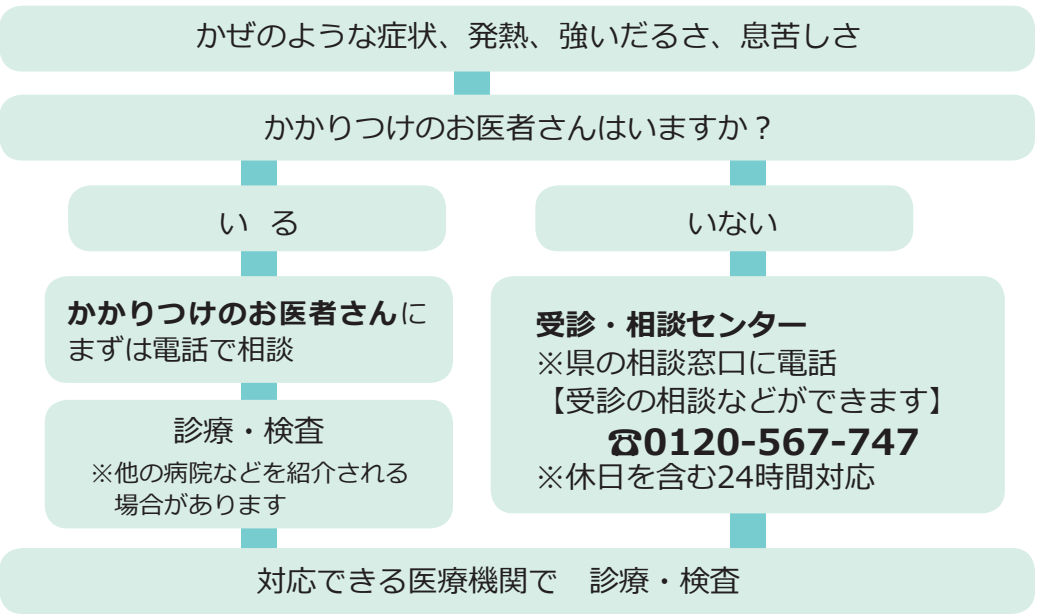
●ウイルス感染はどのように起こりますか？

感染した人の咳やくしゃみで飛んだ飛沫や、手についたウイルスが、目や口、鼻の粘膜などに付着して感染します。皮膚や物の表面にもウイルスは付着しますが、皮膚から体内に入り込むことはありません。新型コロナウイルスは、24～72時間位は感染力を持つとされています。

●無症状の人からも感染しますか？

感染していても症状の出ない人がいます。そうした無症状の人からも、うつる可能性があります。また、発熱などの症状が出る前後が最も人にうつす可能性が高いとの報告もあります。人と人との距離をとる、外出時はマスクを着用するなど、「うつさない」「うつらない」ための対策をとりましょう。

●感染を疑う症状があり相談したい場合は？



感染を疑う症状がある場合は、家庭内でも互いの接触を避けるなど、感染拡大を防ぐ対策が重要です。

広報紙に同封した感染症対策のチラシも合わせてご確認ください。

〈人事異動のお知らせ〉12月21日付

副村長兼建設課長事務取扱 高橋祐一（前建設課長）
統括参事兼総務課長 高橋正文（前総務課長）



副村長 高橋 祐一

就任のあいさつ

12月18日、12月議会定例会において、高橋祐一氏（前建設課長）を副村長に選任する人事案件が提出され同意されました。副村長の任期は、12月21日からの4年間です。

この度、村議会のご同意をいただき、12月21日付で副村長に就任することとなりました。村長の補佐役として、「ワクワクする楽しいふるさと」の実現に向け、誠心誠意向き合わせていただきます。

村が抱える課題は、決して少なくはありませんが、村民の皆さん、関係機関と協議を重ねながら施策に取り組んでまいります。最後までありますが、村民の皆さんの特段のご指導とご鞭撻をお願いいたします。

投票をよろしくお願いします！
2020年「あなたが選ぶ」
村のニュース ベスト10

皆さんの2020年、令和2年はどんな年でしたか。現在村では、恒例の「飯舘村10大ニュース」の集計に向けて、投票を募集しています。ご家族皆様さんでご参加を！



▲全戸配付のチラシと返信用封筒をご利用ください。役場・交流センター・学校には専用ポストもあります。

金賞（すべて正解、または正解率が最高）はクオカード3万円分と村産品セット約2万円分をプレゼント！※該当者多数の場合は抽選。
銀賞（正解率の高い順に10人）は、いいたて村の道の駅までい館商品券5,000円分！
銅賞（応募者全員から抽選で10人）は、宿泊体験館きこり利用券3,000円分！



◀これまでの10大ニュースは10年分ずつ冊子に収録。村の貴重な記録です。

結果発表はWebで！1月29日からYouTube飯舘村公式チャンネルで動画を公開します。また広報2月号でも結果をお知らせします。

飯舘 百景

キラキラ冬の夜

12月11日と12日の2日間、飯舘村商工会が、冬のイベントを開催しました。同商工会青年部が心をこめて準備してきた企画です。家族や友人と連れ立って、多くの人が会場を訪れました。

「キャンドルナイト」は、キャンドルアーティストのキャンドルジュンさんを招いて、11日に飯舘町の善應寺、12日に交流センター「ふれ愛館」で開催。子ども達

が願い事を描いたボトルも、キャンドルを灯して飾りました。

12日は、クリスマスリースやお正月向けのスワッグ（花や葉を束ねた飾り）づくりのワークショップ。夜には、青年部のメンバーが自ら作り上げたイルミネーションを、交流センターと道の駅で点灯。来場したたくさんの方が、ロマンチックな光の景色を心ゆくまで楽しんでいました。

キャンドルナイトやイルミネーションで冬の夜を盛り上げた商工会青年部。点灯式の後は、青年部50周年を記念する花火が、夜空に打ち上げられました。「ふるさとのために」と、忙しい仕事の合間をぬって企画や準備を進めた皆さんの熱い思いが伝わってくるような花火でした。会場では子ども達が、キラキラしたまなざしで花火を見つめていました。

交流センターと道の駅のイルミネーションは1月17日まで。午後4時から午後9時まで点灯します。

スワッグづくり



リースづくり



多彩な光のイベントが冬の夜を彩りました



道の駅と風の子広場の間に設置された光の道



子ども達も幻想的な光景を楽しんでいました



善應寺の境内で行われたキャンドルナイト

令和2年 第10回 飯舘村議会定例会



令和2年12月議会定例会は、12月11日から18日までの日程で開かれました。一般質問は15、16日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は18日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

今議会で可決 された議案など

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 令和2年度一般会計補正予算
- 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算
- 令和2年度簡易水道事業特別会計補正予算
- 令和2年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- 令和2年度介護保険特別会計補正予算
- 令和2年度飯舘村後期高齢者医療特別会計補正予算
- 飯舘村国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 飯舘村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- 村道路線の認定について

被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(伊丹沢西工リア肉用牛用施設) 請負契約の変更について

被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(伊丹沢南工リア肉用牛用施設) 請負契約の変更について

令和元年度災第910号 小滝大倉線道路災害復旧工事請負契約の変更について

農業水利施設等保全再生事業ため池放射性物質対策工事請負契約の変更について

福島再生加速化交付金事業飯舘村簡易水道監視設備等整備工事請負契約の変更について

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

副村長の選任について

村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

行政区長会議

10月2日に、「令和2年度第3回行政区長会議」を開催しています。9月議会定例会及び臨時会の議案の報告や、各課の各種施策について説明し、ご意見ご要望をお聞きしています。

村消防団秋季検閲式

10月4日に村消防団秋季検閲式を挙行しました。約100名の団員が点検に臨みました。村内在住の消防団員の減少など、様々な課題がありますが、その解決策についても検討を進めています。

新型コロナウイルス感染予防

感染予防のために、マスクや消毒液等の購入費用を支援する新型コロナウイルス衛生資材等購入支援給付金を9月末日に、基準日9月1日時点で村に住民登録がある村民へ支給しています。

村民の帰還状況

村民の帰還状況ですが、12月1日現在の村への帰還者は644世帯、1255人で帰還率は約23.9%となっています。これに、震災後の転入者185人と、いったてホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は768世帯で1486人となっています。

避難を継続している方の状況は、県外に197人、県内は、福島市に2347人、南相馬市に328人、川俣町に283人、伊達市に280人、相馬市に148人など、合わせて3573人となっています。

集団検診

7月に村が実施した集団検診では、8月末に受診された方へ結果を送付し、健診結果説明会を9月15日と18日に開催しました。健診の結果、生活環境の改善が必要な方へ保健師が訪問したり、電話をかけたりしながら状況を確認し、必要な対応について説明しています。

いったてクリニック

いったてクリニックの利用状況は、今年8月から10月の利用者は一日あたり18人となっています。診療日数等については今後とも、利用者の状況を見ながら、随時、対応していきます。

乳幼児健診

昨年度まで、福島市内の子育て支援センター「すくすく」で、実施していた乳幼児健診は、今年度からいちばん館を会場として実施しています。

生後4か月から3歳5か月までの健診の必要な年齢に達した乳幼児が健診を受けますが、今年4月から10月までに7回開催し、53人の乳幼児が受診しています。

サポートセンター事業

帰村された方に対し、村内でのお茶会の充実を図るために開設しているサポートセンター事業は開設以来4年で、利用登録者が133人となりました。様々な健康メニューなど参加者も多く、盛況にて運営しています。

農政

今年度、水田約129haで稲刈りが実施され、うるち米の「里山のつぶ」「天のつぶ」「ひとめぼれ」「コシヒカリ」や、もち米の「こがねもち」「ヒメノモチ」、飼料用米の「ふくひびき」のほか、酒米、ホールクロップサイレージが収穫されました。

11月下旬までに全量全袋検査等の県が定めるモニタリング検査を完了し、その全てについて、放射性物質濃度が検出限界値未満であったため、出荷されています。

いったてプレミアム付商品券

県の事業再開・帰還促進事業によるいったてプレミアム付商品券は、6月1日から販売を開始し、10月末までに村民や村内事業所に勤務している方々に1万1379冊を購入いただきました。今年度は、プレミアム付商品券に対する周知・関心の高さから、昨年に比べ売り上げも大幅に伸びています。

学校教育関係

新型コロナウイルス感染症対策のため、学校等の行事については、慎重を期して実施しています。4学年・6学年の宿泊活動については、学校を拠点として実施し、9学年の修学旅行については、感染拡大状況を鑑み、茨城及び栃木方面で実施する予定を変更し、栃木県の日光・那須方面としてきました。いったて希望の里学園では、10月30日にいったてつ子発表会「赤蜻祭」が開催され、までの里のこども園では、11月21日にこども園発表会が開催されました。

ふくしま駅伝

11月15日、第32回ふくしま駅伝が開催されました。今年のふくしま駅伝は、コロナ禍の中の大会となり、区間も距離も例年のおよそ半分での開催となりました。村チームは全区間に参加し、昨年より順位を7つ上げ、敢闘賞を受賞しました。選手の皆さんの姿は、多くの村民に希望と元気を与えてくれました。

長く 元気に過ごすためのフレイル予防

フレイルとは…?



高齢になると筋力、認知機能や社会性が徐々に衰えてきます。そんな高齢者の心身の健康状態を表す言葉として、近年注目を集めているのが「フレイル」です。

フレイル予防に必要な3つのこと

「フレイル」は、日常生活の中で、予防・改善ができることもあります。早目の対策をしましょう。



今回は運動について考えてみませんか?

広まっています いきいき百歳体操

みんなでやると続けられるタネ!

「いきいき百歳体操」とは、平成14年に高知市が開発した、重りを使った筋力向上のための体操です。イスに座って、DVDの映像に合わせながらゆっくりと体を動かすため、高齢の方でも無理なく取り組みます。

介護予防効果が実証されている運動として、県内では国見町や新地町など、全国各地で取り組みが広がっています。村では、つながっぺや地域サロンで取り組んでいます。

いきいき百歳体操



重りを使うことで、一人ひとりの体力に合わせてできるので、高齢の方だけでなく、どなたでも取り組みます。

2人で通って続けています!



半沢ゆかりさん(左)とキクヨさん(白石)

百歳体操は、最初は動きに慣れるまで難しかった。一人だとなかなか続きませんが、つながっぺや地域サロンで皆と体操ができるのでよいです。続けているうちに、体を動かす習慣が身についてきました。いつまでも元気でいられるように、これからも続けていきたいです。

いつでも、どこでも取り組める「いきいき百歳体操」のDVDを無料配布中。ご希望の方は、飯館村地域包括支援センターまで(☎0244-42-1626)

お知らせ
したい!

いいたて希望の里学園・までのりの里のこども園レポート

こども園
NEWS

深谷地区の皆さんと こども園でもちつき会



大きなウスとキネで、昔ながらのもちつきを体験!



今年もみんなに
会えてうれしい
な〜! byウス

12月3日、「までのりの里のこども園」で「もちつき会」が開かれました。もちつきには、今年も「深谷有志の会」の皆さんが協力してくださいました。もち米は、JAふくしま未来飯館総合支店からいただいた新米です。子どもたちは、蒸かしたてのおいしいもち米を食べ、普段食べているご飯との違いも味わいました。

4歳児と5歳児は、有志の会の皆さんの手を借り、千本杵でもちつきを体験。見守る子ども達も「よいしょ、よいしょ」と掛け声をかけて応援しました。つきあがったおもちは、大きな鏡もちにして園に飾られました。

学園
NEWS

専門知識を分かりやすく 「放射線」を学ぼう



放射線の種類を学び友達と協力して測定にも挑戦

12月10日、環境省「環境再生プラザ」の協力による「放射線教育」の授業が行われました。これは「環境再生プラザ」が、放射線の正しい知識を伝えようと、希望する県内の学校などに専門家を派遣しているものです。今回、「いいたて希望の里学園」では、7・8年生の授業で実施しました。

授業では、放射線の性質や健康との関わり、福島原発事故の被害と現状、除染の方法などを、教材や映像で学びました。生徒は、分かりやすく具体的な内容に関心を寄せ、一つひとつの活動に、熱心に取り組んでいました。

学園
NEWS

「いいたて学」の校外学習 みかげ石の加工場へ



村のみかげ石や石材加工に興味津々の4年生

12月14日、4年生が、ふるさとを学び発信する「いいたて学」の一環で、濱田石材工業の加工場を訪れました。

石を切る巨大なカッターや、石を磨く機械が動く様子に目を丸くした4年生。表札をデザインしたり、石の割り方を教わったり、体験も盛りだくさんでした。案内役の濱田幸成さん(白石)への質問タイムで、鈴木慶君が「村の石への思い」を尋ねると、濱田さんは「自分で掘る石には愛着があり大事に使うと思うよ」と優しく答えていました。



「豆矢」とハンマーで石を割る体験も!

チャリティコンサートを開催 村への寄付をいただきました



チャリティショー（右の写真）から「いいいてっ子未来基金」に4万6,250円の寄付をいただきました。佐藤さん（右）と杉岡村長

12月6日、交流センター「ふれ愛館」で、「征人ミュージック・オフィス」「日本舞踊 藤華新流」主催の「2020★唄と踊りのチャリティショー」が行われました。「あなたがスター、あなたのステージ」をテーマに、一般参加者を募集して開いたステージです。12月9日には、歌手名・藤田征人こと佐藤宣征さん（前田・八和木）が来庁し、村への寄付を杉岡村長に手渡しました。



台湾に福島を伝えよう 「福島前進団」が来村

台湾と福島をつなぐ交流プロジェクト「福島前進 Pop Up Fukushima」の一環で行われた県内ツアーの一行が、11月17日、飯舘村を訪れました。このツアーは、SNS（会員交流サイト）を通じて交流する「福島前進団」の最初の取り組みです。公募で選ばれた、日本で暮らす台湾人の留学生や社会人など5人が、県内をめぐる中で来庁しました。5人はそれぞれフェイスブックなどで、福島を魅力を発信します。「地域の文化や魅力を台湾に伝えたい」と意気込みを話していました。



来庁した5人とツアーを主催したNPO法人「元気になるう福島」の皆さん。杉岡村長（中央）を囲んで

クリスマス・ジャズ・コンサート 上質な演奏で贅沢な時間を



上質なサウンドと心に染みる歌声に満たされた会場。冬のひとときが華やぎました

12月12日、交流センター「ふれ愛館」で、交流センター自主文化事業「クリスマス・ジャズ・コンサート」が開かれました。出演は、東京・表参道を中心に活躍する人気グループ「スイート・ネイル」。洗練されたサウンドで、クリスマスソングやスタンダードナンバーを演奏しました。終演後、松下一男さん（草野）は「ジャズが好きなんだ。とてもよかったよ」と余韻をかみしめていました。福島高校JAZZ研究部もオープニングに出演。司会はテレビユー福島「Nスタふくしま」キャスターの小野美希さんが務めました。

クリスマスを中心に 寄せ植え教室を開催

11月19日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「クリスマスの寄せ植え教室」が開催されました。講師は樹木医の鈴木俊行先生。毎年人気の講座で、今年は32人が参加しました。教室では、植える植物の特徴や、寄せ植えのコツを教わり、参加者がそれぞれ自分の寄せ植えづくりに取り組みました。植物に向き合うひとときは、終始リラックスした和やかな雰囲気。参加者の皆さんは、先生からアドバイスをもらいながら、思い思いの素敵な寄せ植えを仕上げていました。



ポインセチアや西洋ヒイラギなどを使いクリスマスムードいっぱいの寄せ植えに

年末の事件事故を防止しよう 関係機関が街頭キャンペーン



村内の金融機関を訪問。写真はJAふくしま未来飯舘総合支店の窓口で啓発グッズを手渡す防犯指導隊

12月14日、飯舘村防犯指導隊（渡邊富士男隊長／飯樋町）が、南相馬警察署や交通安全関係団体、協力企業と共に、「年末の事件・事故防止に係る街頭キャンペーン」を実施しました。開催式では、杉岡村長、遠藤勉南相馬警察署長、渡邊隊長が隊員らに感謝を伝え、南相馬地区交通安全協会の只野俊飯舘分会長（前田・八和木）が「村民の心に伝わる活動に」と呼びかけました。参加者は班に分かれ、長泥地区などの警戒パトロールや金融機関の訪問、道の駅での交通安全の呼びかけなどを行いました。

シルバー人材センターが 村役場で奉仕作業

11月19日、「そうま広域シルバー人材センター」（菅野哲理事長／草野）に所属する村民の皆さんが、村役場の前庭で、奉仕作業を行っていただきました。20人を超える皆さんが参加して、落ち葉の片付け作業です。山ほどの落ち葉を、協力しつつ、きれいに片付け。「シルバー」を名乗っていらっしゃいますが、現役と変わらぬ仕事ぶりです。作業後は、杉岡村長と懇談しました。



分担して手際よく作業が進められ、前庭はすっかりきれいに。作業が終わり庁舎をバックに記念撮影

その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#19



村の歴史を語る資料も多彩



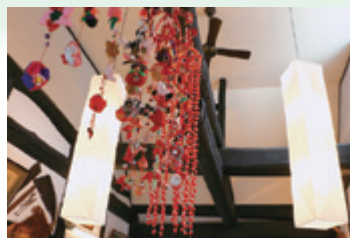
各地のマグネット



小物もきれいにディスプレイ
カーテンレールを駆使した展示も



イベント等のキャップがずらり



静枝さんや妹さんが
つくったつるしびな
も飾られています



八巻 誠 さん 静枝 さん
草 野

古い家の骨組みをそのまま生かしてリフォームした自宅。中に入ると、八巻さんが収集したさまざまな物が、ぎっしりと展示されています。誠さんが仕事で訪れた全国各地のグッズ、趣味で集めた品々、記念写真、新聞記事のスクラップなど、多種多様なコレクションです。大きな物から小さな物まで、それぞれに合

わせた展示の工夫にも、目を見張ります。誠さんと静枝さんが制作した絵画や刺繍なども飾られています。「確かに若い頃から集めることは好きだったね」と誠さん。「その一つひとつに思い出があり、物語があるんだよ」。八巻家の歴史、そして村の歩みをも語る唯一無二のコレクションです。

第8回バドミントン交流会



来年の再会を楽しみに、最後は全員で記念撮影

話題のパレット

身近な話題を
お寄せください
☎0244-42-1613

大会結果(敬称略)

- ◆男子ダブルス
 - 1位 大澤和巳・船山浩一
 - 2位 高橋賢治・熊谷和久
 - 3位 花井 茂・菅野拓海
- ◆女子ダブルス
 - 1位 渡辺千枝子・佐藤敦子
 - 2位 高野江美・高野愛実
 - 3位 林さい子・菅野朝美
- ◆混合ダブルス
 - 1位 高橋賢治・高野江美
 - 2位 熊谷和久・佐藤敦子
 - 3位 荒木 真・林さい子

11月22日、「いいたて希望の里学園」体育館において、第8回「バドミントン交流会」が開催されました。今年はコロナ感染が収まらない中での開催となりましたが、村内外から24人が参加する盛況ぶりでした。初心者の方も、経験者に交じってダブルス戦を楽しみ、広いコートで心地よい汗を流していました。

飯舘村婦人会

11月29日、飯舘村婦人会(長谷川花子会長/前田)が、交流センター「ふれ愛館」で、「寄せ植え教室」を開催しました。講師は、生涯学習講座(P16)でも大人気の樹木医・鈴木俊行さん。14人が、表情豊かな寄せ植えを楽しみました。また12月13日には新型コロナウイルス感染症予防対策の勉強会も実施しました。



寄せ植え教室

勉強会の様子



福島レッドホープスが来庁



「飯舘の皆さん応援をよろしくお願いいたします」と呼びかける岩村監督(右から4人目)

独立リーグ「ルートインBCリーグ」に所属する「福島レッドホープス」の岩村明憲代表取締役社長兼任監督らが、12月11日、村役場を訪れました。杉岡村長はじめ職員と懇談し、昨年に続き、次のシーズンも、「いいたて球場」で、同球団の公式戦を行う予定を報告。互いにエールを送り合いました。

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介しします

読書メッセージコンテスト

入賞作品の図書を購入しました

「この本面白いから、みんなにも教えたい」「昔読んだあの本、ここがいんですよ」―生涯学習課では、そんな本にまつわるメッセージを、毎年「読書メッセージコンテスト」で募集しています。本のジャンルも、応募する人の年齢も問わないコンテストで、第21回を迎えた今回も、たくさんのご応募をいただきました。本当にありがとうございます。

審査会で入賞作品が決まり、これから表彰を進めていきます(※12月18日現在)。入賞作品の二部は、広報いいたて2月号で紹介。また、おすすめの本は、皆さんに読んでいただけるよう購入しました。どうぞお楽しみに。旅行などが思うようにできない昨今、代わりに、本の世界へ、心の旅にどんどん出かけましょう。



問 交流センター「ふれ愛館」
☎ 0244-42-0072

本の貸出時間
平日：午前8時30分から午後5時

入札結果をお知らせします

入札日／9月17日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
税務LANシステム機器購入	5,797,000円	(株)福島県中央計算センター	令和2年12月下旬
飯舘村消防団第二分団機動部屯所ホース乾燥塔タラップ設置工事	1,595,000円	(株)古俣工務店 川俣支店	令和2年11月下旬
までいな家修繕工事	13,585,000円	(株)古俣工務店 川俣支店	令和3年2月下旬
街路樹保全管理業務	1,430,000円	秋元造園(株)	令和3年2月下旬
ふくしま森林再生事業公有林整備業務	91,960,000円	飯舘村森林組合	令和3年2月下旬
ふくしま森林再生事業公有林施業総合管理業務	8,800,000円	(公益社)福島県森林・林業・緑化協会	令和3年2月下旬
いいたてスポーツ公園法面災害復旧工事	2,387,000円	(株)東栄	令和3年2月下旬
ふれあい交流館たてやま法面災害復旧工事	2,123,000円	濱田建設工業(株)	令和3年2月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘東部その1)農業用排水施設等補修工事(取水堰補修)	30,580,000円	(有)渡建工業	令和3年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘西部その1)農業用排水路施設等補修工事(ため池補修)	16,060,000円	(有)福相建設	令和3年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘西部その1)農業用排水施設等補修工事(取水堰)	15,950,000円	(株)英工務店	令和3年3月下旬

入札日／10月15日(単位：円)

事業再開帰還促進事業「いいたてルミナリエ」イベント業務	3,993,000円	飯舘村商工会	令和3年2月下旬
戸籍附票システム改修業務(戸籍システム)	4,884,000円	富士ゼロックスシステムサービス(株)公共事業本部東北支店	令和3年3月下旬
戸籍情報システム改修業務	1,496,000円	富士ゼロックスシステムサービス(株)公共事業本部東北支店	令和3年3月下旬
戸籍附票システム改修業務(住基システム)	2,079,000円	(株)福島県中央計算センター	令和3年3月下旬
固定資産税評価替改修業務	924,000円	(株)福島県中央計算センター	令和2年3月下旬
児童・生徒学習用タブレット端末等購入	2,502,500円	(株)NTTドコモ東北支社	令和3年3月下旬
学校施設空調設備保守点検業務	3,520,000円	文化設備工業(株)	令和3年3月下旬



お知らせ

J A敷地内にコイン精米所がオープン
開所式を行いました

12

月1日、J Aふくしま未来飯舘総合支店の敷地内にコイン精米所がオープン。村内で精米ができるようになりました。この日、精米機を利用した高橋松一さん(二枚橋・須萱)は、栽培した米を、道の駅のレストラン用に精米し、「村内でできるようになってよかった。利用させてもらいたい」と喜びを見せていました。利用時間は、隣接する飯舘給油所の営業時間と同じ午前8時～午後5時(日曜日は休み)です。



関係者が集まり開所式を行いました

イスにカバーをつけました
感染症対策を続けています

庁

舎内のイスの一部に布製のカバーをつけました。役場を訪れる人が利用したり、打ち合わせに使っているスペースのイスの一部です。感染症対策の二環で、洗えるカバーをつけました。

また、窓口カウンターにクリアボードを設置し、朝・昼・夕に周辺を清拭するなどの対策も継続しています。庁舎入口には、検温の機械や、手指用の消毒液も置いてありますので、来庁時はご協力をお願いします。

引き続き感染症対策に取り組んでいきます



村長室(来訪者用のイス) ほっとこなー

12月の村の動きと主なできごと

- 9日・平沢勝栄復興大臣 来庁(村役場)
- ・ボタニカルキャンドル教室(交流センター「ふれ愛館」)
- 10日・長泥環境再生事業運営協議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 11～18日・12月議会定例会(村役場議場)
- 11日・キャンドルナイト(善應寺)
- 12日・クリスマス・ジャズ・コンサート(交流センター「ふれ愛館」)
- ・キャンドルナイト・イルミネーション点灯式(交流センター「ふれ愛館」)
- ・いいたて冬の花火(交流センター「ふれ愛館」付近)
- 14日・年末の事件・事故防止街頭キャンペーン(いいたて村の道の駅までい館他)
- 20日・木質バイオマス施設整備事業 小宮行政区説明会(小宮コミュニティセンター)
- 21日・飯舘村新型コロナ感染症対策本部会議(村役場)
- ・第11回農業委員会定例総会(村役場)
- ・第4回学校運営協議会(村役場)
- 22日・総合教育会議(村役場)
- ・定例教育委員会(いいたて希望の里学園)
- 23日・第32回ふくしま駅伝敢闘賞表彰伝達式(いいたて希望の里学園)
- ・第21回読書メッセ「ジコンテスト表彰式(いいたて希望の里学園)」

お気に入りの景色、ふるさとを感じるモノなど、あなたの「推し」を広報紙に掲載してみませんか。


 地元の食材を使った創作料理教室（広報12月号を見てね）で品評会で人気の高かった2品を紹介します。材料は4人分です。
 ぜひお試しください！
 菅野クニさん（宮内）

●いいたて雪っ娘カボチャとエゴマのパスタ


 生クリーム300～400ml
 バター20g ニンニク1片
 エゴマ適量 塩コショウ少々
 ベーコン2枚 パセリ少々
 オリーブオイル 大さじ1
 いいたて雪っ娘カボチャ1/4個

●イータテベイクのおにぎり


 イータテベイク2個
 ご飯2合分
 塩少々 しょうゆ20ml
 バター少々 白ゴマ適量

掲載についてお問い合わせは村づくり推進課企画係
☎0244-42-1613までお気軽に。

12月9日に「いいたてスポーツ公園」で開かれた第16回飯舘村老人クラブ連合会ゲートボール大会。23人が参加し寒さを吹き飛ばす白熱のプレー。初心者さんとベテランさんの混合チームで熱戦を繰り広げました。



社会福祉協議会で老人クラブのサポートを担当。皆さんの元気に圧倒されています！

齋藤香織さん（大久保・外内）



 地域おこし協力隊
 いいたてDIARY
 ダイアリー

あっという間に1年が終わってしまいました～。
 ちょうど1年前の12月に協力隊になり、右も左も分からないのを良いことに、突進してきた1年。
 タイムスリップしたかの様な速さでした。振り返れば、それだけ充実していたのだと思います。

コロナがあり中々動きづらい時期もありましたが、何だかんだと2か月に1度のペースでイベントを開催することができました。村の方を始め、役場の方々のお力添えもあり、県内外から沢山の人が飯舘村を訪れるきっかけを、少しずつですが作れているのではないかと考えています。日々の沢山の出会いが、私の心も体も大きくしてくれているのだと実感しています。

来年も、右も左も分からないまま、闘牛の如く突き進み、皆様にご迷惑をおかけして参ります。終わりが良ければ全て良し！としたい、、、（笑）
 良いお年をお迎えください。そして、笑顔あふれる1年になりますように。



今月のライター

飯舘村地域おこし協力隊
二瓶 麻美さん

写真は、1 12月5日開催の布ぞうりのワークショップの様子と、2 大久保・外内地区の皆さんとの荳胡麻（えごま）汁うどんづくりの様子。



佐野志帆さんの

ラオス通信。

vol.5

ラオスの家族たち

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？佐野さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ！

佐野さんは兵庫県の出身。青年海外協力隊として現地で活動した経験をもとに、佐野さんが見て触れて感じたラオスを教えていただきます。



ラオスの人々は自分の家族を大切にし、家族や親戚と過ごす時間を楽しみます。今回は、いくつかのエピソードとともにその様子をお伝えします。

小学校では休み時間が2時間たっぷりあり、児童の多くは家に帰り家族と一緒に昼を食えます。その送迎も両親のどちらかがすることがほとんどです。また、私の活動先にも、お昼になると先生の子どもたちが事務所を訪ねてきて一緒に先生の準備をしてくれていました。さらに、仕事に同僚と一緒に家族に電話したり、家族の結婚式のために仕事を休むなんてこともよくありました。

休日になると大家さんが訪ねてきて、「ご飯は食べた？」と尋ねてくれます。これは日本という「いいお天気ですね」のような挨拶言葉ですが、私が「食べてないよ」と答えると家からおかずを持ってくるので、ただの社交辞令ではないのです。庭に草が生えていれば、一緒に手入れしたり、家族総出で家の修理をしてくれたり、大家さんの家族には本当にお世話になりました。

ラオスでは、物理的にも精神的にも人との距離が近く感じます。友人同士でも「お姉さん」「お兄さん」と呼び合い、家族のようには助け合う文化が根付いているのです。

学校でのお昼ご飯



次回は
 ラオスの幼稚園の健康診断
 を紹介します！

ひとのうごき

（令和2年11月30日現在）

人口	今月（前月比）
男	2624人（-13）
女	2635人（-10）
計	5259人（-23）
世帯数	1835戸（-3）

11月1日～30日までの

◆◆人口動態◆◆

転入	4人
転出	20人
出生	1人
死亡	8人
（住民基本台帳人口）	

（11月21日から12月15日までに届け出のあったものを掲載）
 ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。



 おくやみ

氏名	年齢	行政区
嶋原文夫	82	長泥
高橋嘉子	101	伊丹沢
横山弘光	83	小宮
中島一美	73	比曽
伏見ナツヨ	94	草野
阿部俊彦	35	前田
佐藤住男	88	二枚橋・須萱

ご冥福をお祈り申し上げます

HOPES

ホープス セカンド

2nd

ふるさとで新しい夢を育みたい

菅野真奈美さん（草野）

「真奈美先生、あのね…」
一生懸命に話しかける園児の言葉に、優しく相槌を打つ菅野さん。やりがいをもって保育補助の仕事に取り組んでいます。「難しさもあり、まだまだ勉強中」とはにかむ笑顔が印象的です。
東京都で一人暮らしをしていましたが、新型コロナの影響が広がる中、村で働く母親の弘美さんからことも園の求人聞き、ふるさとへ



比曾で生まれ育った菅野さん。飯樋小学校、飯樋中学校の出身です。専門学校卒業後は福島市や東京都で仕事をしてきました。今年9月から「まていの里のこども園」で保育補助として勤務しています。



新雪が積もった園庭の築山で、ソリ遊び楽しむ子ども達と。（子どもの頃の真奈美先生もソリ遊びが好きだったそうですよ）。仲良く安全に遊ぶよう、笑顔を交わしながら、そっとサポート。

戻ることを決意しました。祖父父母や両親と暮らした懐かしいふるさとで暮らすのは、中学校卒業以来です。
震災が起きたのは高校1年生の時。家族を思い、将来についても「不安でいっぱいの日々を過ごした」そうです。その後は専門学校で製菓を学び、菓子店に就職。パティシエの道に進みますが、体を壊して断念せざるを得なくなり、再出発のために経験を積もうと上京しました。
「生活の全てを自分でやるのは初めてで、少しは自立ができたかなと思います」。
そして現在の笑顔があります。「村の子ども達は外遊びが大好き。元気いっぱい、で素直です」。菅野さんは、保育士になるための勉強を始めました。「自分を奮い立たせて」新しい夢に「一歩を踏み出しています」。

編集後記

●あけましておめでとうございませう。取材を通して昨年も多くの方とお話しさせていただきました。「この笑顔と笑い声は、お金じゃ買えないね」「友達は心の支えです」今年も心がホッとする、支えになるような言葉にたくさん出会えますように。（木幡）

●商工会主催の光のイベント、訪れたたくさんの方の笑顔もキラキラでした。こんな素敵なイルミネーションを手作りしてしまうなんて…青年部の皆さんすごいです。ふるさとのために行動するまさに「わくわく」の担い手！感動いっぱい冬の夜を、ありがとうございます。（星）



飯舘村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。